



**2022年度 第2四半期**

**決算説明会**

**イビデン株式会社 (4062)**

**2022年10月28日**

**このプレゼンテーション資料には、2022年10月27日現在の将来に**

**関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。**

**世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因**

**により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。**

# 2022年度上半期 実績

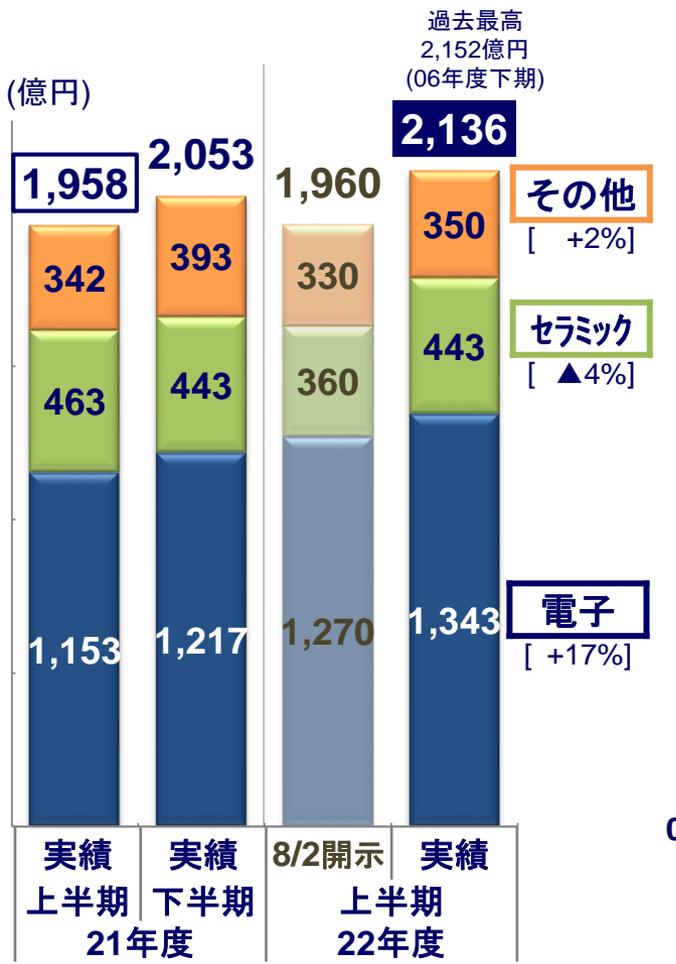


# 2022年度(上半期) 売上高・営業利益・純利益 実績 IBIDEN

## 売上高

[ ]は  
前年同期比

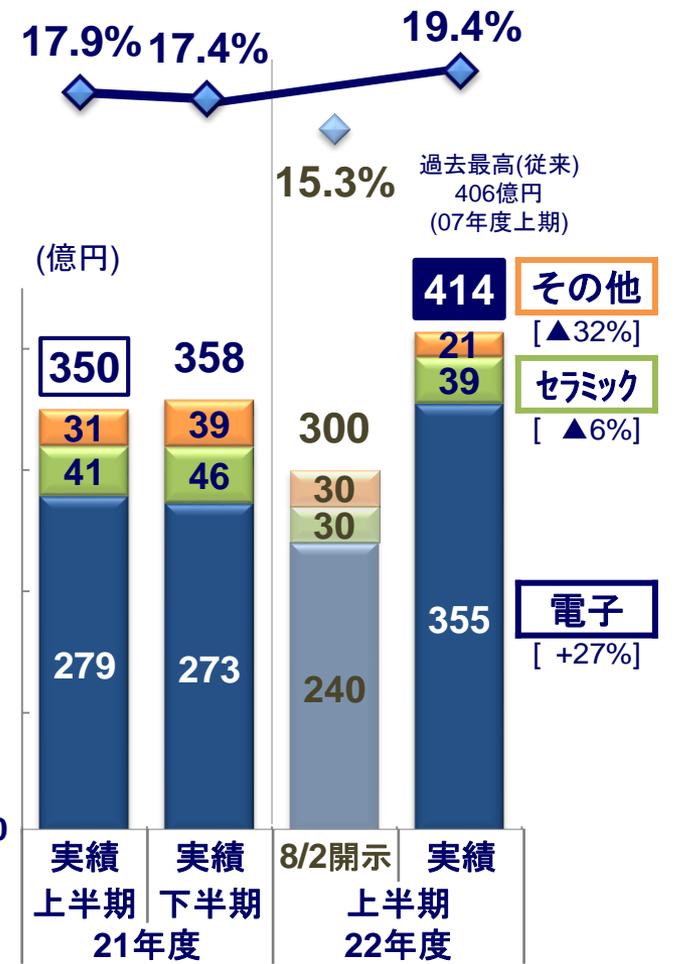
前年同期比  
+9.1%



## 営業利益

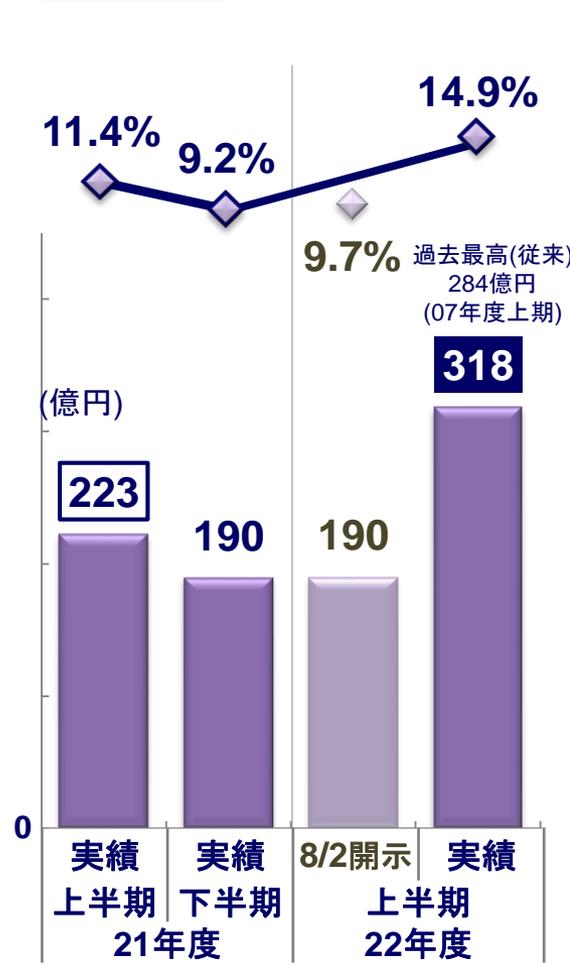
[ ]は  
前年同期比

営業利益率  
前年同期比  
+18.2%



## 純利益

純利益率  
前年同期比  
+42.9%



109	113	120	129	為替(ドル)
129	129	130	135	為替(ユーロ)

# 2022年度 見通し

# 2022年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 見通し

## 売上高

[ ]は  
21年度比

(億円)

21年度比  
+7.2%



実績 21年度      8/2開示 22年度      見通し 22年度

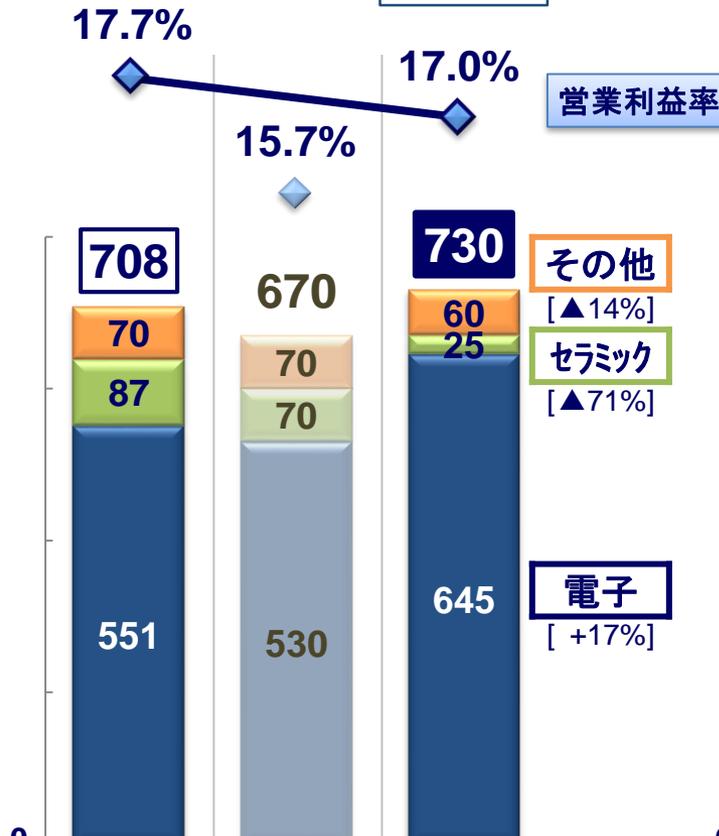
111	120	135 (上129・下140)	為替(ドル)
129	130	135	為替(ユーロ)

## 営業利益

[ ]は  
21年度比

(億円)

21年度比  
+3.1%

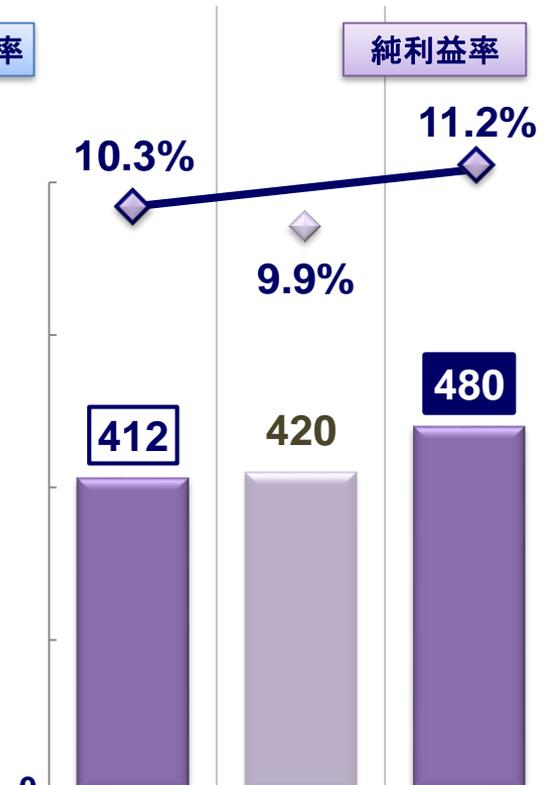


実績 21年度      8/2開示 22年度      見通し 22年度

## 純利益

(億円)

21年度比  
+16.4%



実績 21年度      8/2開示 22年度      見通し 22年度

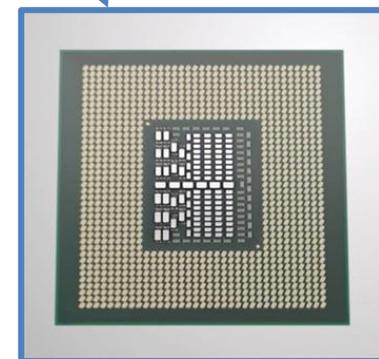
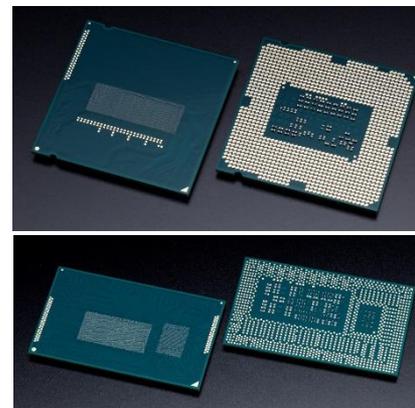
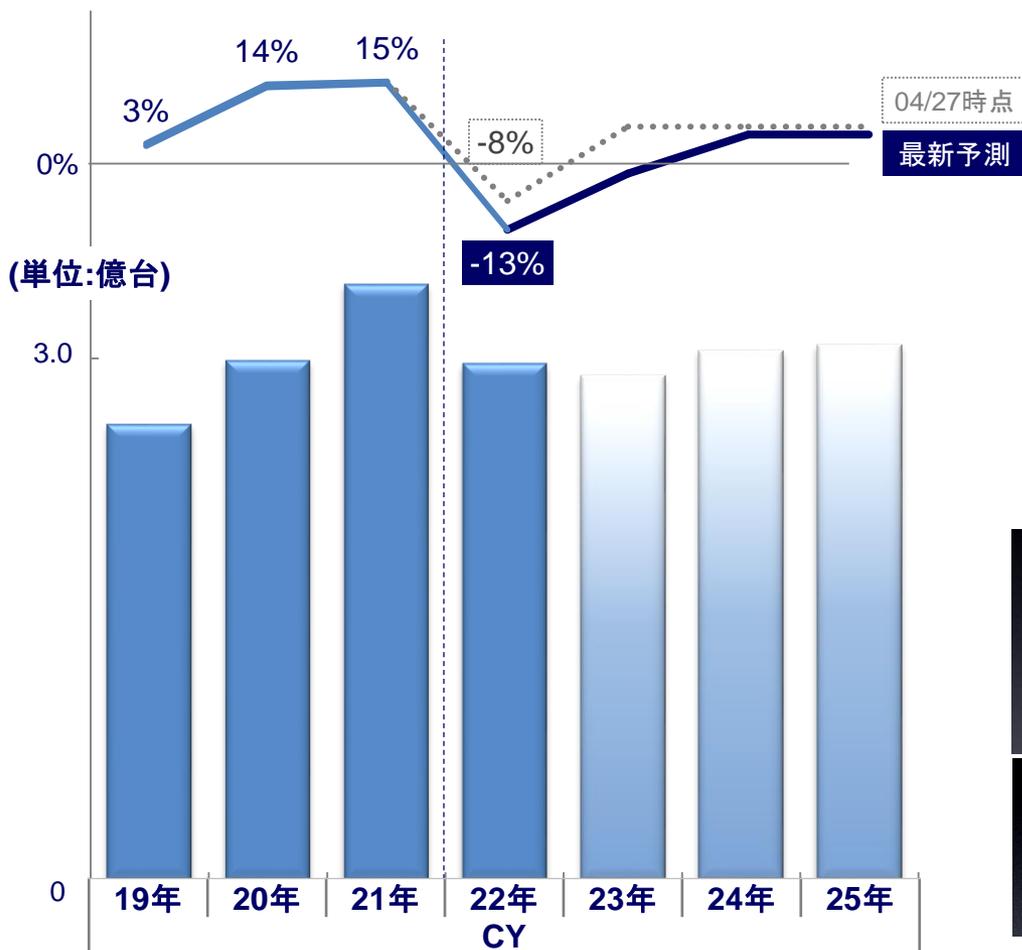
# 市場見通しと 当社事業展望

# [電子] パソコン市場の動向

□ テレワーク・オンライン教育向け、OS更新需要の一巡に伴い、足元は需要減速するも、中長期的には安定推移の見通し

## ◆ パソコン成長率

(外部調査会社の情報を基に推定)

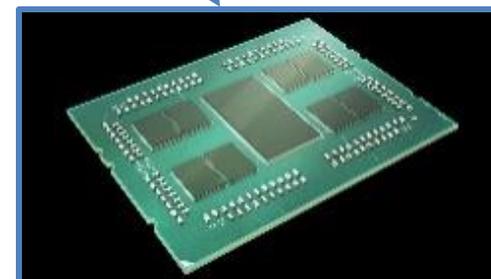
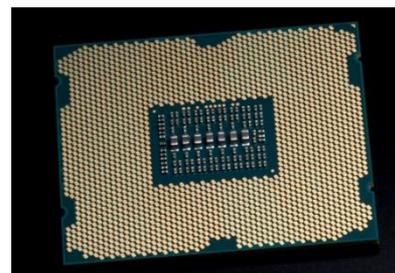
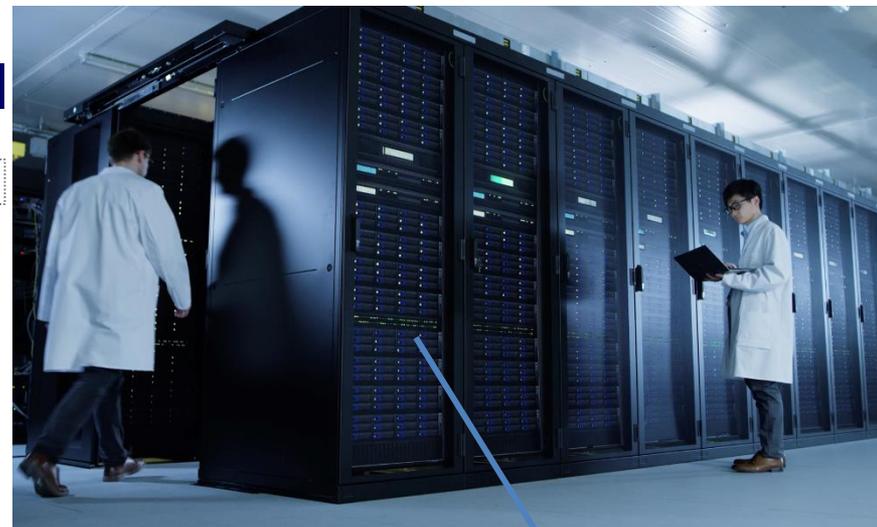
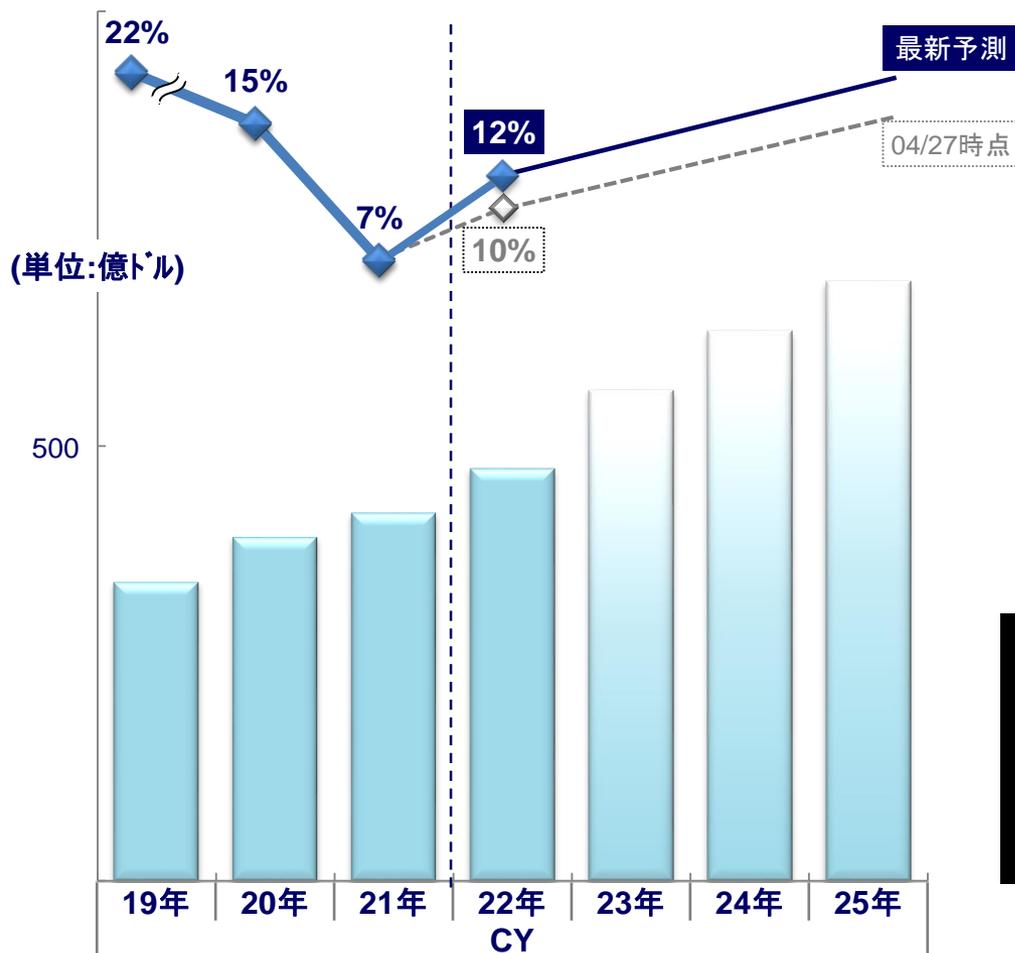


# [電子] データセンター市場の動向

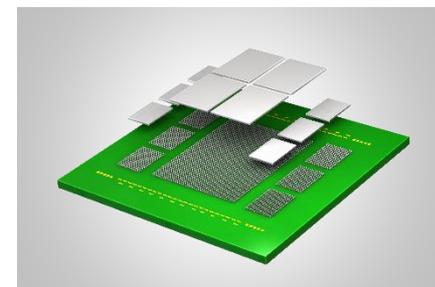
□ ICT・DXの進展によるデータセンターの高機能化・省エネ化ニーズに伴い、ハイエンド領域も含め、中長期的に二桁成長の見通し

◆ データセンター成長率

(外部調査会社の情報を基に推定)



□ 通信技術の発展により、自動運転の進化やメタバースの普及が見込まれ、データの取扱い量は飛躍的に増加、更なる半導体の高機能化が求められる



# [電子] ICパッケージ基板の需要見通し(SAP面積換算)

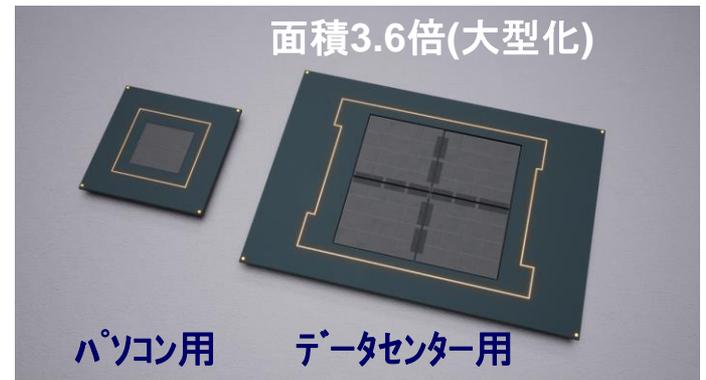
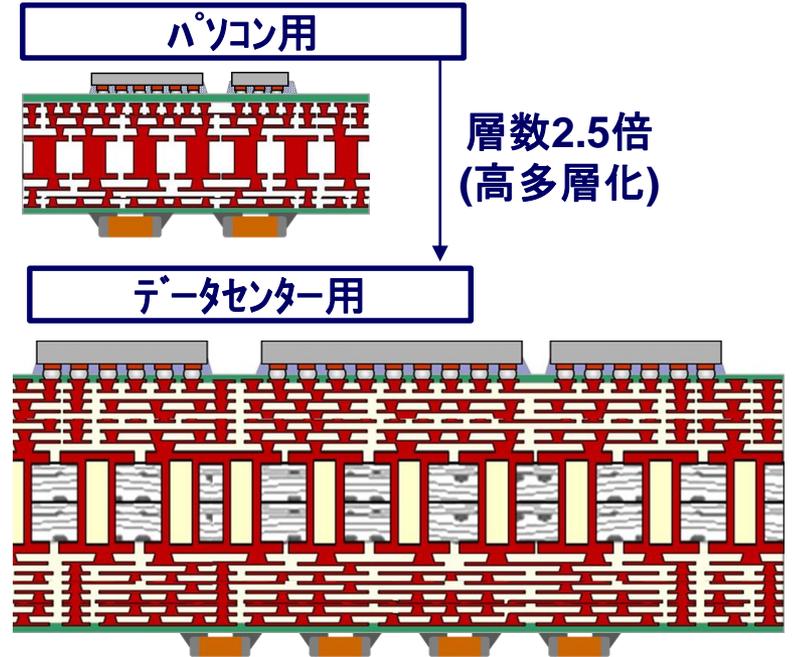
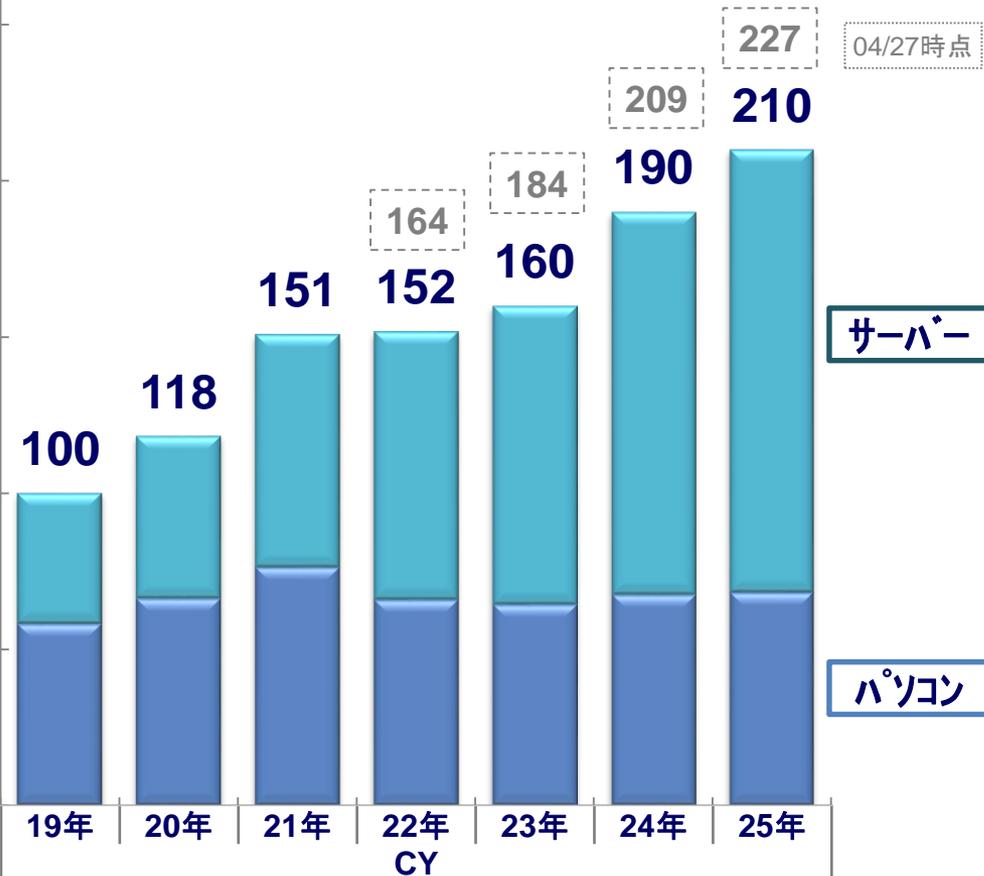
□ データセンターを中心に、大型・高機能ICパッケージ基板が増加、中長期的にSAP需要は拡大の見通し

## SAP\*需要(面積)

(顧客情報等を基に推定)

\*Semi Additive Process

※19年度を「100」として指数化

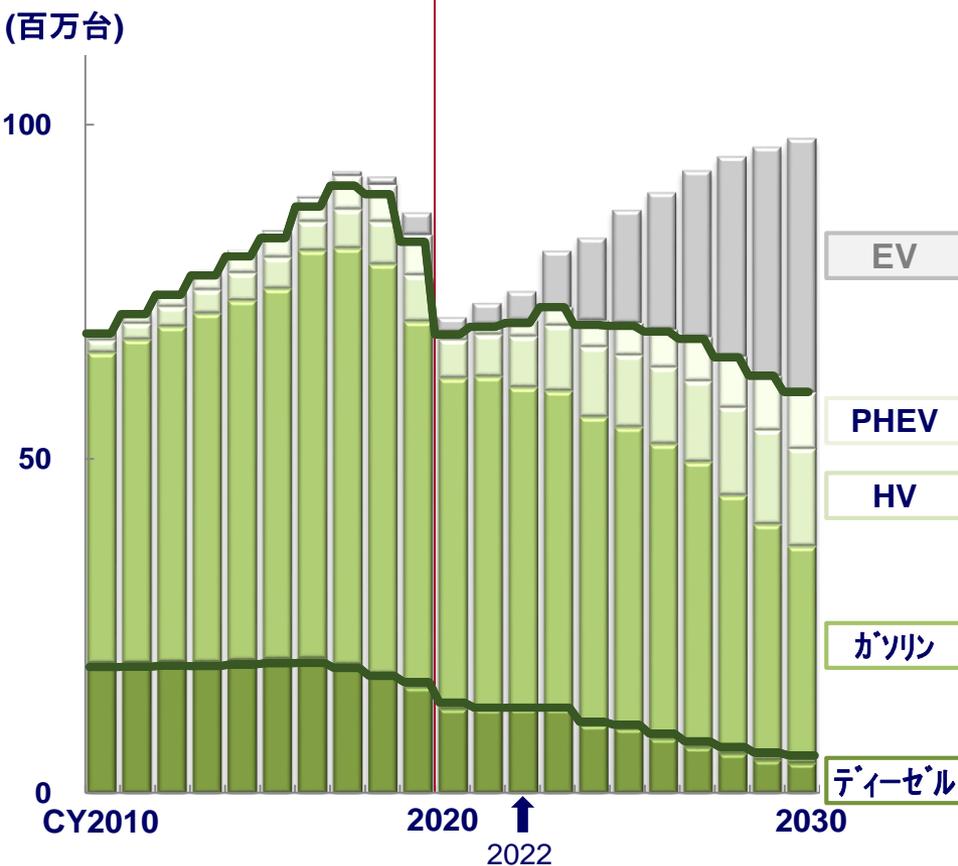


# [セラミック] 自動車生産台数の見通し

- 乗用車市場 : 内燃機関搭載車は、一定水準残るも、電動化が加速する見通し
- 中・大型車市場 : 中国・新興国を中心とした排ガス規制の強化を背景に拡大

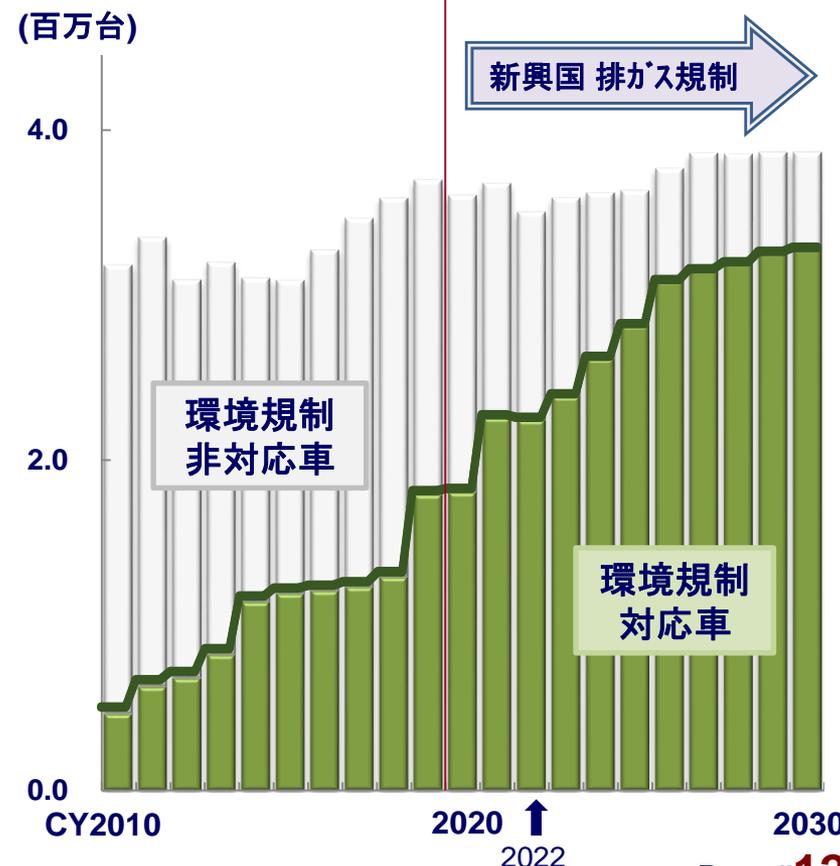
## 乗用車

(外部調査会社の情報を基に推定)



## 中・大型商用車

(外部調査会社の情報を基に推定)



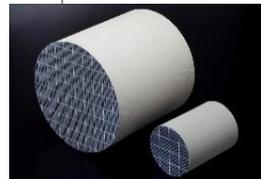
# [セラミック] 排気系事業

- 物流・コスト視点で、ハンガリー・メキシコ・日本の3拠点を活かした最適地生産を実施する
- 成長が期待される中国市場において、化デン蘇州を基点に収益拡大を図る(シール材・DPF)
- 電動化の加速に伴い、開発の軸足をEV用部材に移し、車載事業の新たな柱を構築する

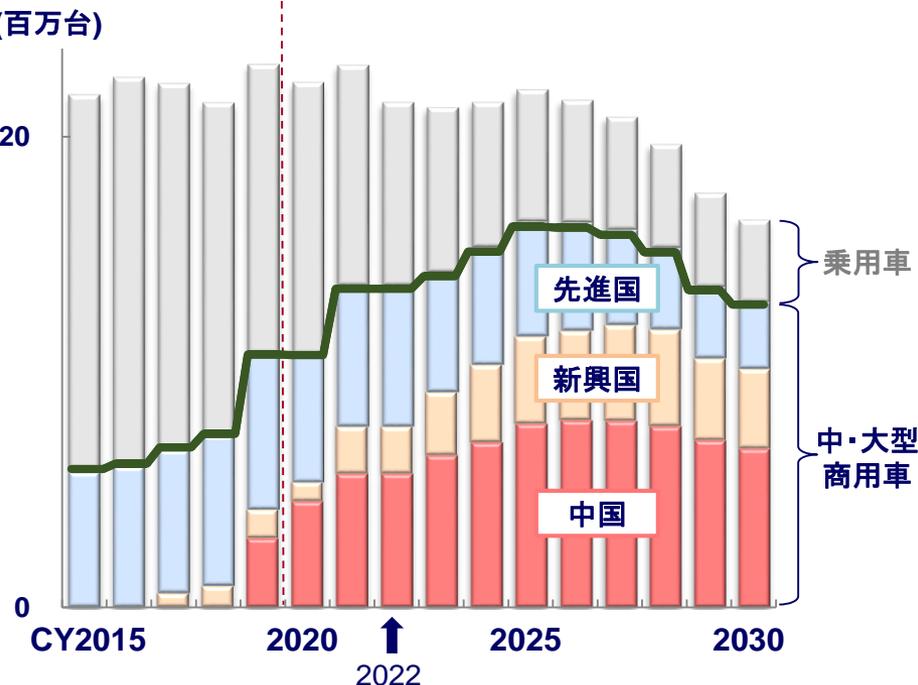
## DPF市場

※乗用車の約3倍換算

(顧客情報等を基に推定)



中国 排ガス規制

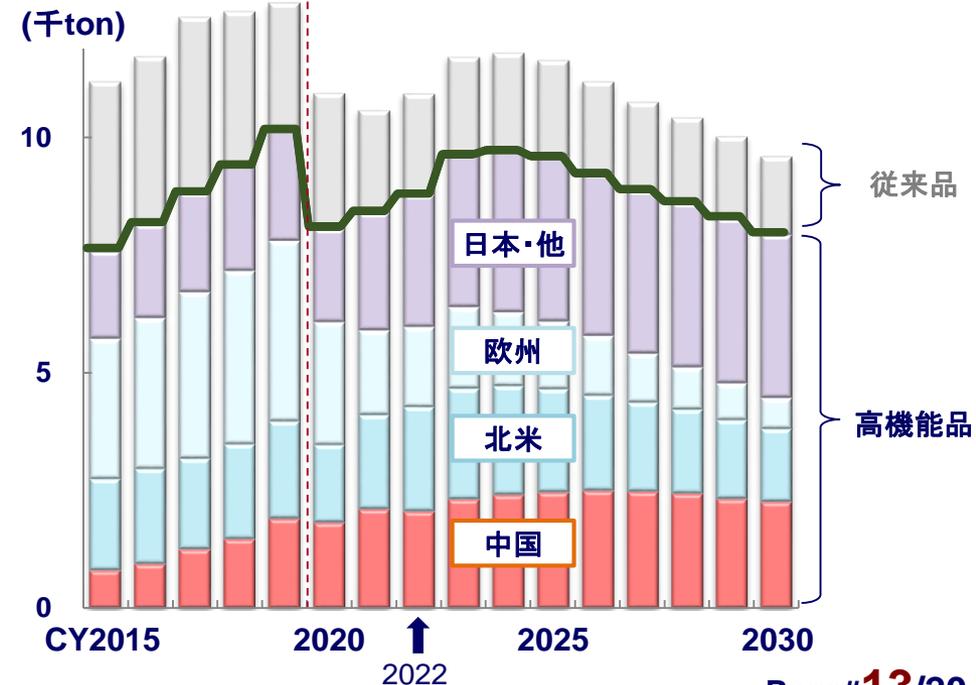


## 自動車用触媒担体・保持シール材

(顧客情報等を基に推定)



中国 排ガス規制

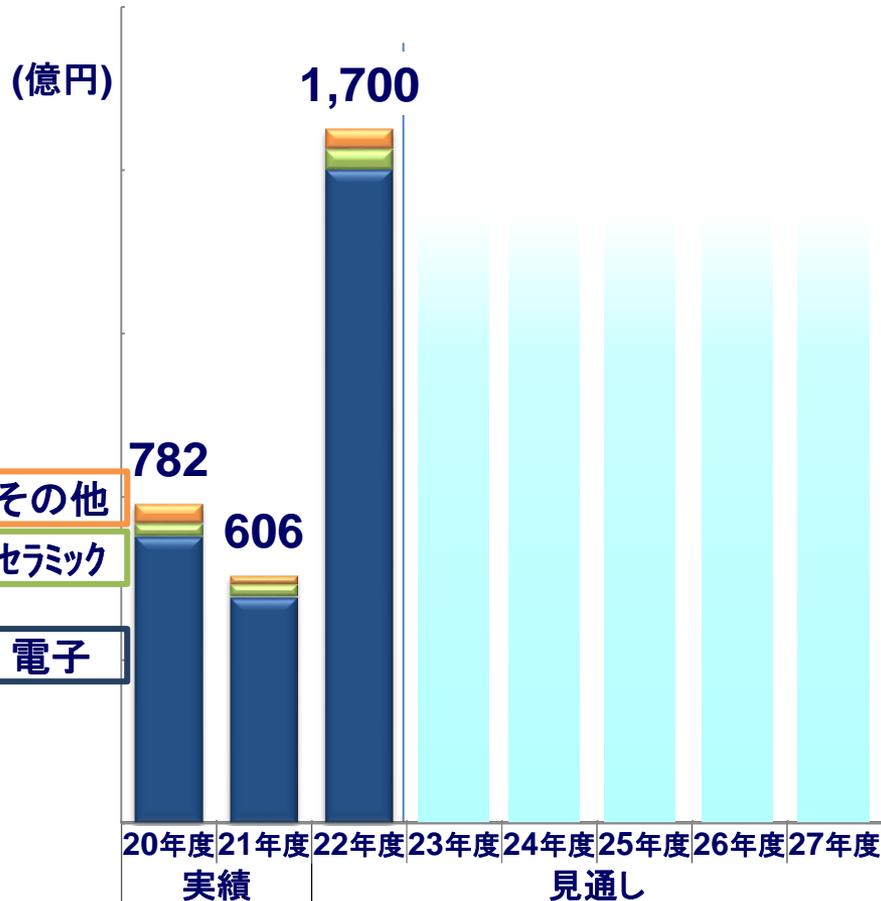


# 中期業績 見通し

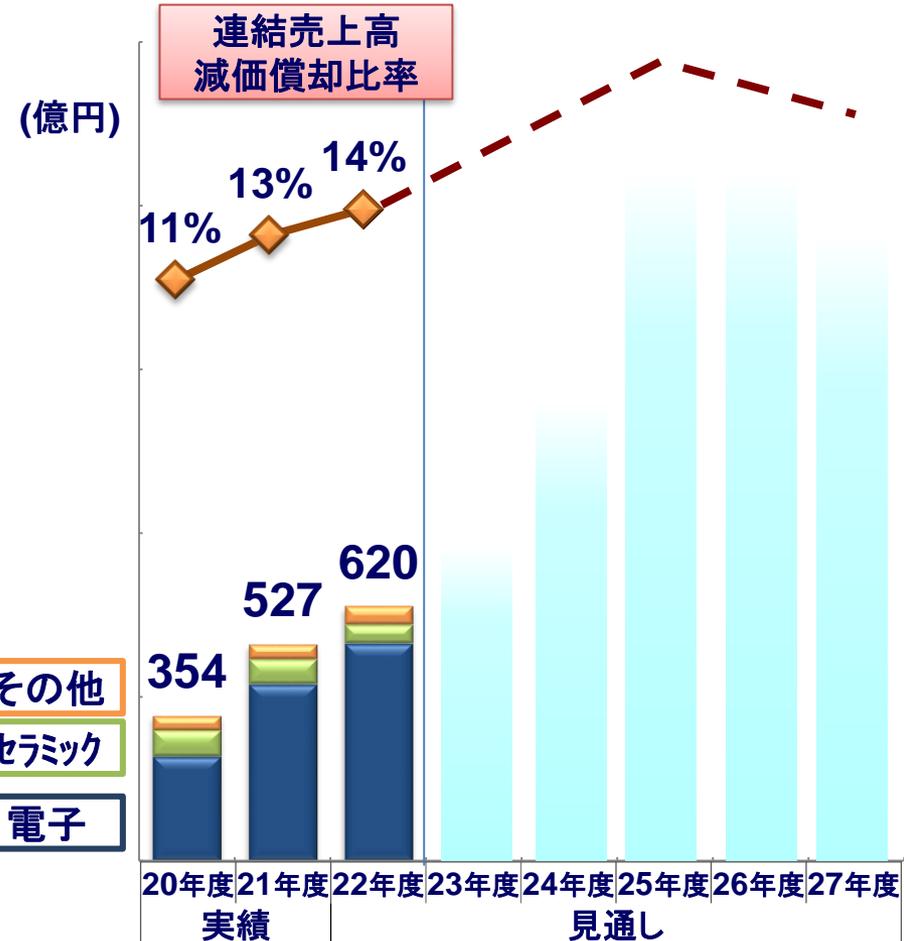
# 設備投資(検収)額・減価償却費の計画

□ 中長期での事業成長基盤を確かなものにするため、大型・高機能ICパッケージ基板向けに高水準の投資を継続する

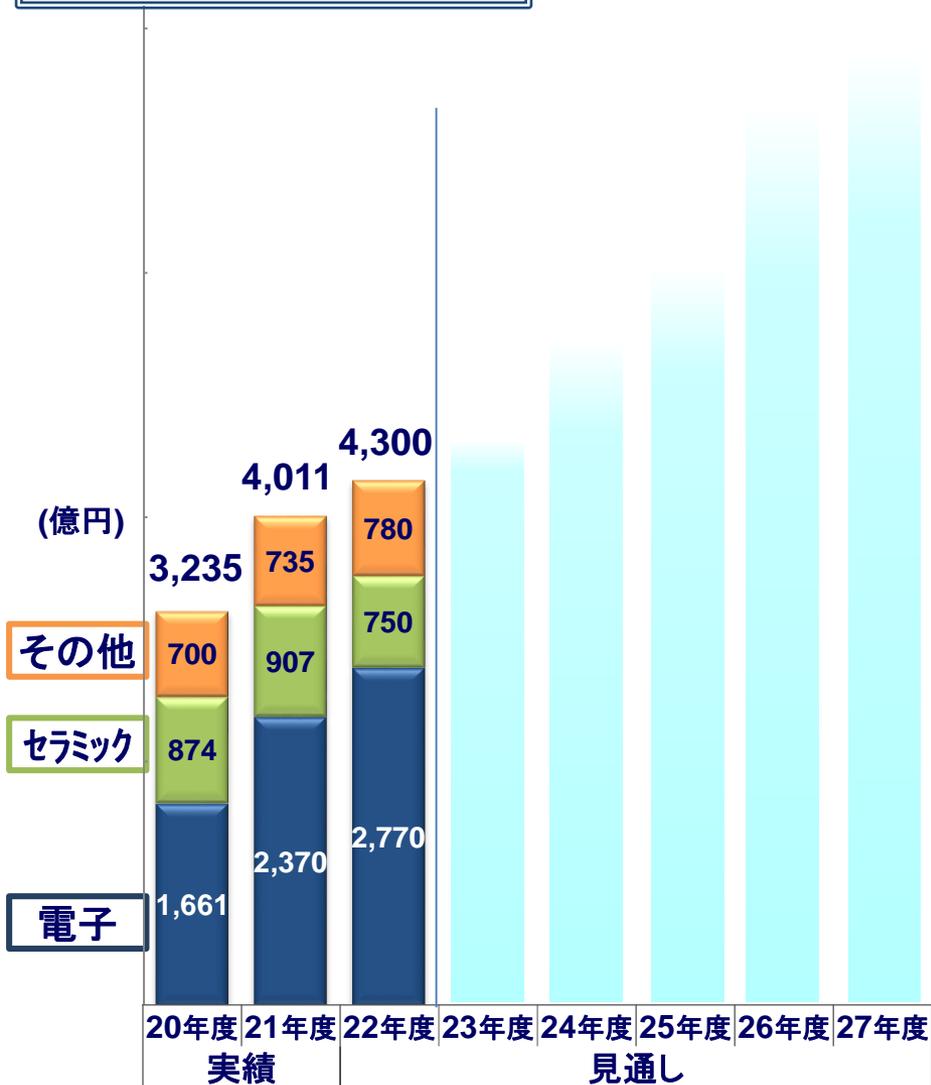
## 設備投資額



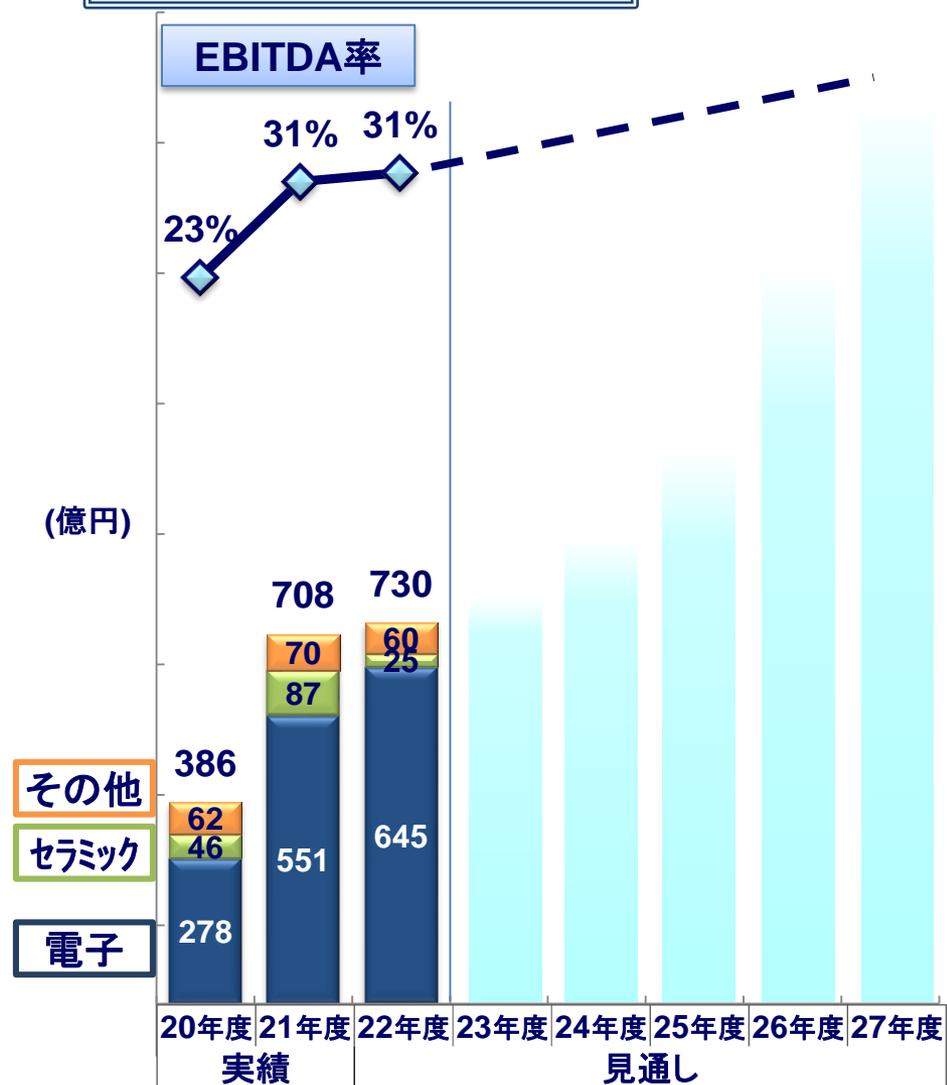
## 減価償却費



## 売上高



## 営業利益・EBITDA率

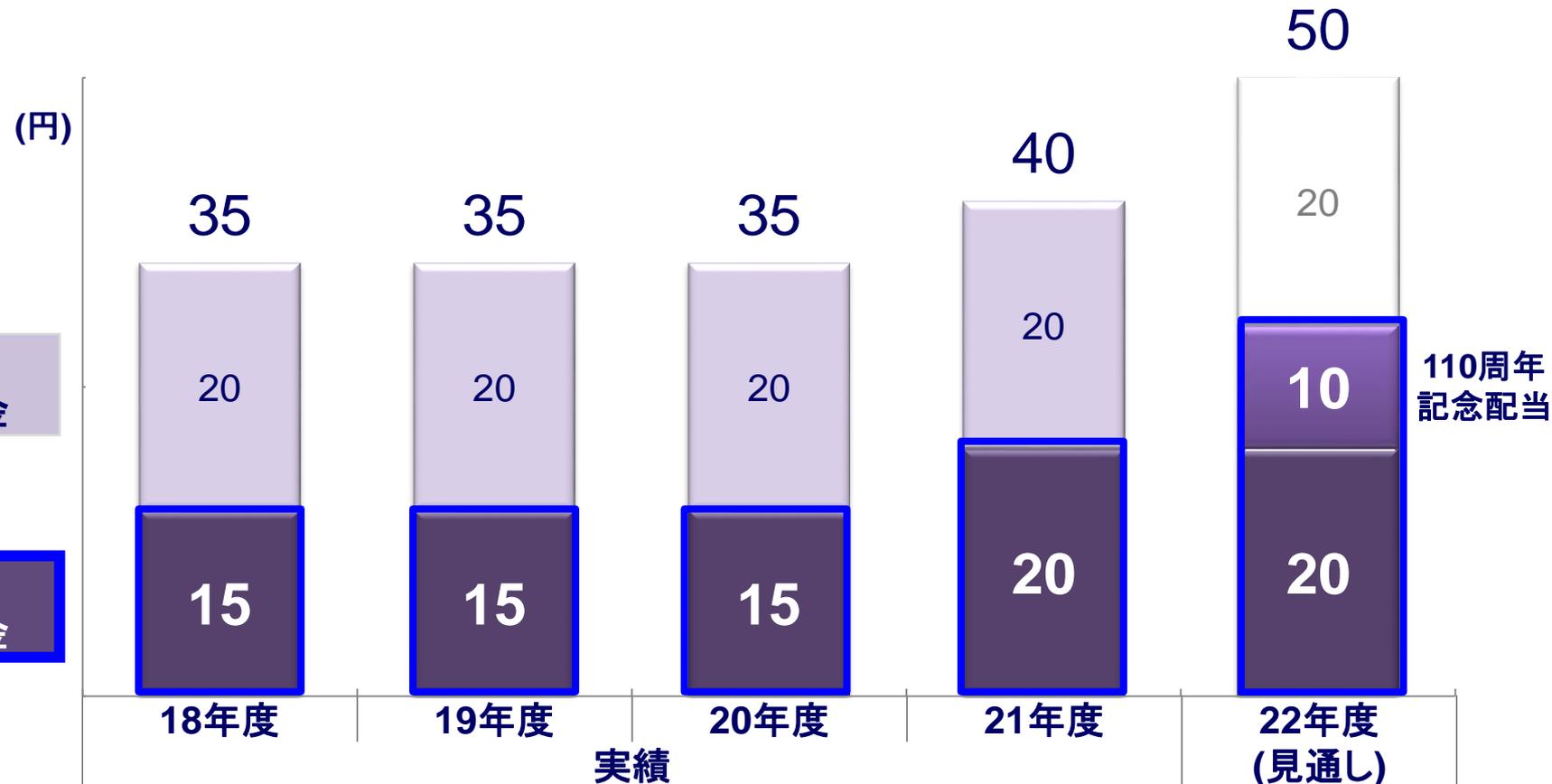


# 株主還元

# 株主還元

- 22年度中間配当にて、創立110周年を記念して1株当たり10円の記念配当を実施する
- 資本配分の考え方として、当面はICパッケージ基板向け大型投資を優先する
- 株主還元は、「安定配当」を基本方針とする

## 一株当たり配当金



# 脱炭素社会への 取り組み

# 脱炭素社会への取り組み

- 2030年度：温室効果ガスの**排出総量30%**を削減 (2017年度対比)
- 2050年度：排出**実質ゼロ**を達成

- 1) 再生可能エネルギーの最大活用
- 2) ICPの導入、RE100の活動強化
- 3) DX活用による生産効率化
- 4) CO<sub>2</sub>回収・固定化の技術開発



東横山発電所



衣浦事業場 水上フロート



## 海外生産拠点の取り組み

- 1) 電子のアジア2拠点については、CO<sub>2</sub>ゼロ化を達成
- 2) 他の拠点についても、CO<sub>2</sub>ゼロ化を順次推進

[例] 蘇州工場：2023年までに40%を転換

※使用電力を対象



CO<sub>2</sub>ゼロ化を達成



化デデン エレクトロニクス マレーシア 株式会社



化デデン フィリピン株式会社